



大阪錦繪新聞

第 二 号

四橋西北情郎

猩々堂九化記

子代の白牡丹  
 株とめこと  
 知さるる

新町南通二丁目木原の店を返りて後とみせ  
 小櫻といへる媚妓の艶容名の如く若らうしく  
 赤心の強氣は男も及ばず奴の小萬も  
 肌足で逃出し一巴枝額も今あは  
 降余あすへ一爰は再ける人カ  
 車の二件へ新町中不評判高  
 風説紛々何まを是ありと  
 記者も判せむ其實説を  
 正さんとあが一遊樓は登上  
 あつて其本人は聴聞あまう

笹本好吉画

彫 淺 二 良